九州大学病院
KYUSHU UNIVERSITY HOSPITAL

第53号
平成25年12月

九大病院だより

九州大学病院 広報委員会発行

前立腺がんのロボット支援手術　泌尿器・前立腺・腎・副腎外科

従来、開腹手術や腹腔鏡手術で行われていた前立腺がんの切除手術は、本院では医療ロボット“ダヴィンチ”を用いたロボット支援手術へと術式の移行が急速に進み、それにしたがって手術症例も急増しています。

ロボット支援手術の利点

治療中の患者さんにとって、身体への負担がもっとも大きいのは手術です。1990年代になって、手術後の痛みの軽減や回復の早さなどの利点から、これまで開腹で行われてきた手術の多くが腹腔鏡手術として行われるようになってきました。

しかし、腹腔鏡手術では、モニターに映った２次元の画像を見ながら、開腹手術とは異なる特殊な器具を操作して行わねばならないため、技術の習得には特別な訓練と経験が必要です。

“ダヴィンチ”によるロボット支援手術の有利な点は、従来の腹腔鏡手術に比べて、より臨場感あふれる３次元の立体画像を見ながら、ヒトの手のように自由に動く器具を操作できることであり、これによって開腹手術と同様のイメージで、より安全に手術を行えることです。

またロボットを用いると身体を大きく切らなくても、ロボットの手先が入る１㎝ほどの穴を数ヶ所開けるだけで、手術ができます。これまでの調査で、ロボット支援手術の安全性の高さは確認されており、従来の開腹手術や腹腔鏡手術と比較して明らかに出血量も少なく痛みも軽いため、回復も早くなっています。

九州大学病院での実績

本院の泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科では平成15年からロボット支援手術に取り組み始め、19年からはダヴィンチ(スタンダード)を用いたロボット支援手術を自由診療で開始しました。

24年７月には新型のダヴィンチＳを導入して、これまでに200症例以上のロボット支援手術を行い、その実績を報告しています。

今後のロボット手術

ダヴィンチＳは現在のところ、我が国では泌尿器科、婦人科、消化器・胸部外科のみでしか医療機器として認可されておらず、前立腺全摘除術以外はいまだ保険診療ができません。

本院では平成25年１月より、今後の適用領域の拡大を視野に入れ、腎がんに対する“ロボット支援手術”を臨床試験として開始しました。また外科領域、婦人科領域でも先進医療の申請を目指して，臨床試験が行われています。

ロボット支援手術では、術者のみならず、麻酔科医師、看護師、臨床工学技士の連携によるチーム医療がこれまで以上に求められます。また、若手術者の教育・育成も急務です。関係者一同協力して、ロボット支援手術の安全な普及を目指していきたいと思います。

前立腺がんのロボット支援手術についてのお問い合わせ

◎泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科
TEL 092-642-5615
診療日：火・木(初診)

エッセイ Essay

ごあいさつ

九州大学病院別府病院長
三森（みもり）　功士（こおし）
Koshi Mimori

別府病院は昭和６年より九州帝国大学温泉治療学研究所附置病院として発足し、平成23年に現在の九州大学病院別府病院として再出発いたしました。

６月より堀内孝彦先生(S57九州大学卒)をお迎えし、これまでの循環器内科と免疫代謝内科とを統合した「別府病院内科」として新たな船出をいたしました。現在当院の診療科は内科(免疫・血液・代謝内科、循環・呼吸・老年病内科)、外科(消化器がん、乳がん、高齢者特有疾患など)、整形外科(脊椎外科)、放射線科(画像診断、放射線治療)、麻酔科の５科です。

とくに、「悪性腫瘍」「内科疾患(内分泌・糖尿病・膠原病)」「脊椎疾患」という難治性が問題となる３疾病をおもな治療対象と位置づけています。

このような疾病による苦しみをもつ患者さんに対して、深い愛情と熱い情熱を胸に、専門的知識と最先端の機器を駆使して診療にあたっています。「難治だから」という理由だけであきらめていた笑顔を、少しでも取り戻すことができるように、全診療科が一体となって頑張りたいと思います。

▶▶▶ 診療科のご案内 ①

小児歯科・スペシャルニーズ歯科

当科は４月から診療科名が「小児歯科」から「小児歯科・スペシャルニーズ歯科」に変更になりました。診療の対象を「小児歯科」では健常な子どもたちを、「スペシャルニーズ歯科」では全身の病気や心身に先天的あるいは後天的に障がいを抱えた乳幼児、学童さらに青少年などを中心として、治療にあたっています。

個々の特殊な事情により歯科診療を容易に受ける事ができない患児(者)は、全身疾患を悪化させる原因となる、う蝕(むし歯)や歯周病にかかり、重篤化しやすい状況にあります。

当科は小児医療センターの一翼として小児科・小児外科と密接に連携し、治療にあたることが可能です。小児の入院病棟や、歯科麻酔科や口腔外科とも隣接しています。恵まれた医療連携環境を最大限に活用し、他の専門診療科の医療スタッフと協力・連携しながら、歯科口腔疾患の検査・診断・治療および予防に重点的に取り組んでいます。

小児歯科・スペシャルニーズ歯科：http://www.hosp.kyushu-u.ac.jp/shinryo/dent/01/index.html

▶▶▶ 診療科のご案内 ②

血液・腫瘍内科

血液・腫瘍内科は、血液疾患、固形がんを中心に、初診は毎日、再診はそれぞれの医師の担当領域で、外来診療を行っています。診療はとくに先端医療に力を入れており、血液疾患の難治症例に対する造血幹細胞(赤血球、白血球や血小板のもとになる細胞)移植では同種造血幹細胞移植600例以上、自己末梢血幹細胞移植400例以上を実施してきました。

また病態の比較的軽い血液疾患や消化器がん・軟部肉腫や原発不明がんなどの固形腫瘍に対する抗がん剤・分子標的薬治療も積極的に行っています。

上記のほか、当科は血液血管内科として最新の医学的知見に基づき、心血管インターベンション(冠動脈形成術、大動脈ステントグラフト、末梢血管形成術、腎動脈形成術、カテーテル心筋焼灼術)などの利用にも取り組んでいます

血液・腫瘍内科：http://www.hosp.kyushu-u.ac.jp/shinryo/naika/01/index.html

■連載 メディカルスタッフを紹介します[11]

このコーナーでは本院の医療スタッフの役割を順次、紹介します

＊今号よりコメディカルという医療スタッフへの呼称を、メディカルスタッフとあらためて、連載を進行させています

リハビリテーション部　理学療法士

リハビリテーション部には理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が所属し、それぞれの専門能力を活かしてチーム医療の一端を担っています。

理学療法とは、手術後や発症直後から呼吸・循環機能の改善、関節可動域の拡大、筋力強化、麻痺の回復、痛みの軽減など運動機能に直接働きかける治療法です。また、寝返る、起き上がる、立ち上がる、歩くなどの日常生活を行う上で基本となる動作の改善を目指し、自立した日常生活が送れるよう支援する専門職です。

本院で治療を受ける方が笑顔で退院し、社会(家庭、職業、スポーツなど)へ復帰できるよう支援しています。

分子イメージングセンターが開所

センター全景

九州大学では、九州大学病院にサイクロトロン施設の整備事業を進めてきましたが、このほど施設建設が実現し、平成25年10月９日に分子イメージングセンターとして開所式を行いました。

「分子イメージング」とは、生体内で起こるさまざまな生命現象を外部から分子レベルで捉えて画像化する技術の総称で、近年、世界的にその重要性が認識されています。その中核技術であるPET検査を行うために、短半減期の放射性物質を製造するサイクロトロンが不可欠です。

また、本センターには、26年２月に日本で２番目となるPET/MRI装置が導入される予定で、今後、新しい診断装置と新しい放射性薬剤を組み合わせた、今までにない分子イメージングが実現可能となります。本学のみならず、日本の生命科学の推進への貢献を目標としています。

施設内を見学する有川総長

九州大学病院別府病院のご紹介

放射線科

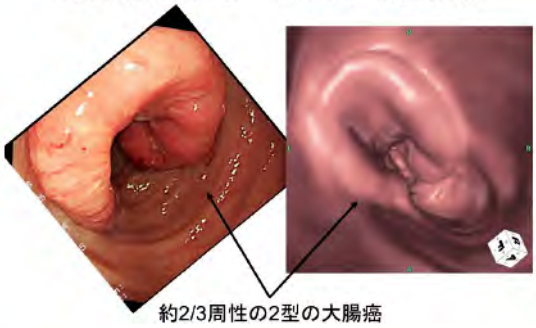
九州大学病院別府病院放射線科は、平成21年に画像診断装置、高精度放射線治療装置などの入れ替え・更新を行い、４年が経過しました。通常のCT、MRIをはじめ、心臓CTやCTコロノグラフィの検査依頼は、院内はもとより大分県内外の病院・診療所からも増加しています。

また、放射線治療に関しては、大分県では初めての、前立腺がんに対する強度変調放射線治療(IMRT)、肺がんに対する定位放射線治療にも取り組んでいます。新聞などでの紹介もあり、大分県内はもとより関東からの患者さんも受け入れています。

画像診断と放射線治療に関しては、専用回線でつないだ連携システムにより、福岡本院放射線科での特殊疾患などに対する放射線診療を、別府・大分の患者さんに提供しています。

S状結腸癌

通常内視鏡　vs.　CTコロノグラフィー仮想内視鏡



約2/3周性の2型の大腸癌

■平成26年１月６日から病院地区、全面禁煙へ！

病院地区(馬出キャンパス)は、健康増進法に基づく受動喫煙防止の観点から、平成26年１月６日(月)から、敷地内全域で全面禁煙となります。

九州大学病院はこれまで喫煙場所を設けて分煙を行ってきましたが、本院は医療機関であること、および患者さん、患者家族、お見舞いに来られた方や職員・学生などへのたばこの煙による健康への悪影響(受動喫煙)を防ぐため、この度、敷地内全面禁煙を実施することと致しました。

たばこの煙による健康被害は、循環器疾患、呼吸器疾患、がんなどが報告されています。

本院の取組について、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

■外来診療日一覧

今号の一覧表は、4月1日付変更の情報も掲載されています

■休診日　土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12/29－1/3)
■初診受付時間　8:30－11:00(窓口)
■再診受付時間　8:15－17:00(自動再来受付機)、8:20－17:00(窓口)
■外来玄関開閉時間　7:30－18:00

■外来診療棟

階/受付	診療科名	初診日	再診日
4階/西	心療内科 TEL 092-642-5335	月・木	火・水・金
	呼吸器科 TEL 092-642-5388	月・水・金 ※要紹介状	月・火・水・金
	外科 ●消化管外科(1) ●胆道・膵臓・膵臓移植・腎臓移植外科 ●呼吸器外科(1) ●乳腺外科(1) ●内分泌外科 TEL 092-642-5453	火・木	火・木
	外科 ●消化管外科(2) ●肝臓・脾臓・門脈・肝臓移植外科 ●呼吸器外科(2) ●乳腺外科(2) ●血管外科 TEL 092-642-5479	月・水・金	月・水・金
	先端医工学診療部 TEL 092-642-5993	月・水・金	月・水・金
4階/東	産科(再診時のみ) TEL 092-642-5900 婦人科 TEL 092-642-5409	月－金 ※要紹介状	月－金
	ペインクリニック(麻酔科蘇生科) TEL 092-642-5719	月・火・水・金	月－金
4階/東第2	再生歯科・インプラントセンター TEL 092-642-6361	月－金	月－金
3階/西	内科 ●血液・腫瘍内科 ●免疫・膠原病・感染症内科 ●消化管内科 ●腎・高血圧・脳血管内科 ●内分泌代謝・糖尿病内科 ●肝臓・膵臓・胆道内科 TEL 092-642-5302	月－金 ※専門の疾患によって曜日が異なります。お問い合わせの上お越しください。 ※要紹介状	月－金
	先端分子・細胞治療科 TEL 092-642-5302、5996	月－金	月－金
3階/東	ハートセンター外来 TEL 092-642-5371 TEL 092-642-5565 ①循環器内科 ②血液・腫瘍内科(心臓血管グループ) ③心臓血管外科	①月－木 ②火・水・金 ③月・水・木 ※①と③は要紹介状	①月・水 ②火－金 ③火・木
	皮膚科 TEL 092-642-5597	月・水・金 ※要紹介状	火・木
	耳鼻咽喉・頭頸部外科 TEL 092-642-5681	火・木	月・水・金

階/受付	診療科名	初診日	再診日
2階/西	神経内科 TEL 092-642-5349	火・木・金	月・水
	脳神経外科 TEL 092-642-5533	月・水・金	月・水・金
	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科 TEL 092-642-5615	火・木	月・水・金
2階/西第2	精神科神経科 TEL 092-642-5640 子どものこころの診療部 TEL 092-642-5642	火・木 ※要紹介状	月－金
2階/東	眼科 TEL 092-642-5660	月・水・金	月－金
1階/西	整形外科 TEL 092-642-5504	月・水・金 ※要紹介状	月－金
	放射線科 TEL 092-642-5705	月・水・金 ※放射線/ヨード治療は要予約	月－金
	総合診療科 TEL 092-642-5300	月－金	月－金

棟	階	診療施設等	電話番号
外来診療棟	4階	ストーマ看護外来(月－金)	092-641-1151
		助産師外来(月－金)	092-642-5900
	3階	糖尿病フットケア外来(水・金)	092-642-5302
		リンパ浮腫外来(木)	092-642-5409(産) 092-642-5615(泌)
	2階	外来化学療法室	092-642-5125
		がん相談支援室・緩和ケア	092-642-5200
	1階	総合案内	092-642-6270
		外来受付	092-642-5138
		入院受付	092-642-5150
		公費相談窓口	092-642-5736
		支払窓口	092-642-5169
		患者さん相談窓口	092-642-5132
		医療連携センター	092-642-5165
		社会福祉相談窓口	092-642-5167
		在宅療養支援室	092-642-5185
		ARO 次世代医療センター	092-642-5858
		睡眠時無呼吸センター(火・水・木・金)	092-642-5988
		粒子線がん治療外来(火・木)	092-642-5705
		渡航外来(火・水)	092-642-5021
北棟	2階	難病情報センター	092-643-1379 092-643-8292
		福岡市認知症疾患医療センター	092-642-6235

棟	階	診療施設等	電話番号
南棟	2階	栄養相談室	092-642-5180
	1階	時間外受付	092-642-5163
		リハビリテーション受付	092-642-5862

■北棟

階/受付	診療科名	初診日	再診日
5階/西	小児科 TEL 092-642-5430	月－金 ※専門医が診察できない場合があります。 ※要紹介状	月－金
	小児外科、小腸移植外科 TEL 092-642-5578	月・水・金	月・水・金
	臨床遺伝医療部 TEL 092-642-5421	月－金	金
	小児歯科・スペシャルニーズ歯科 TEL 092-642-6465	月－金	月－金
	矯正歯科 TEL 092-642-6460	月－金	月－金
5階/東	全身管理歯科 TEL 092-642-6483	月－金	月－金
	顎口腔外科 TEL 092-642-6445	月－金	月－金
	顔面口腔外科 TEL 092-642-6450	月－金	月－金
	歯科麻酔科 TEL 092-642-6479	月－金	月－金
4階/西	歯周病科 TEL 092-642-6425	月－金	月－金
	歯内治療科 TEL 092-642-6430	月－金	月－金
	咬合補綴科 TEL 092-642-6435	月－金	月－金
	義歯補綴科 TEL 092-642-6440	月－金	月－金
4階/東	歯科総合予診 TEL 092-642-6500	月－金	月－金
	口腔画像診断科 TEL 092-642-6471	月－金	月－金
	口腔総合診療科 TEL 092-642-6490	月－金	月－金

平成25年12月現在

※赤色の曜日は予約が必要です。
※電話予約受付時間14:00－16:00　予約に関するお問い合わせは、各診療科外来へ直接お電話ください。
※再来の方でも、1年以上受診されていない場合には、初診の曜日・時間となり、紹介状をお持ちでない方は治療費とは別に保険外併用療養費として3,150円が必要となることがあります。あらかじめ各診療科外来にお確かめ願います。

病院にお越しの際は保険証をお忘れなく!
※保険証の呈示がない場合には、保険での取扱いができません。

外来患者さんへ
◎本院のお薬は原則として「院外処方」としています。「院外処方せん発行」にご協力ください。
◎外来患者さん用の駐車場を準備していますが、駐車台数が限られていますので、できるだけ公共の交通機関をご利用いただきますようご協力願います。

■病院の理念
患者さんに満足され、医療人も満足する医療の提供ができる病院を目指します。

■基本方針【理念に基づく実行目標として、下記の5つを掲げています】
①地域医療との連携及び地域医療への貢献の推進
②プライマリ・ケア診療の充実
③全人的医療が可能な医療人の養成
④専門医療の高度化を目指した医学研究の推進
⑤国際化の推進

九州大学病院
KYUSHU UNIVERSITY HOSPITAL
TEL 092-641-1151[代表]　FAX 092-642-5146[外来]
〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1番1号
〈ホームページ〉 http://www.hosp.kyushu-u.ac.jp

予約センター(初診患者さん専用)
受付時間　9:00-16:00(平日のみ)
受付FAX番号　092-642-5509
お問い合せ番号　092-642-5508